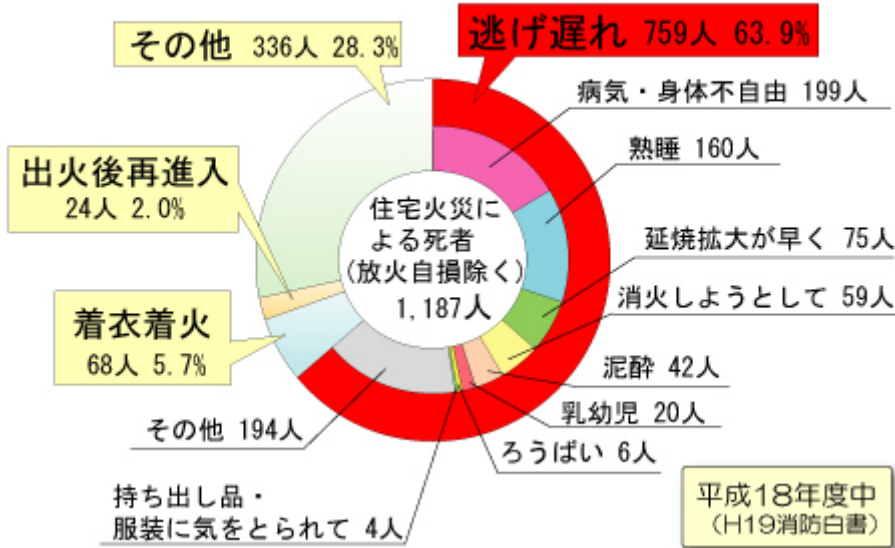


## 火災による被害の軽減に劇的な効果！

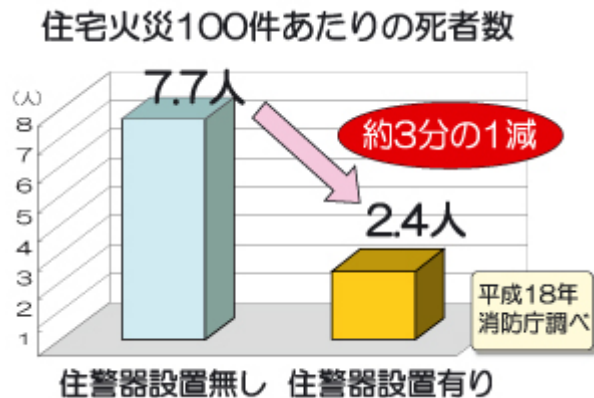
火災の早期発見で逃げ遅れを防ぐ



住宅火災で亡くなった原因の約6割は「逃げ遅れ」です。

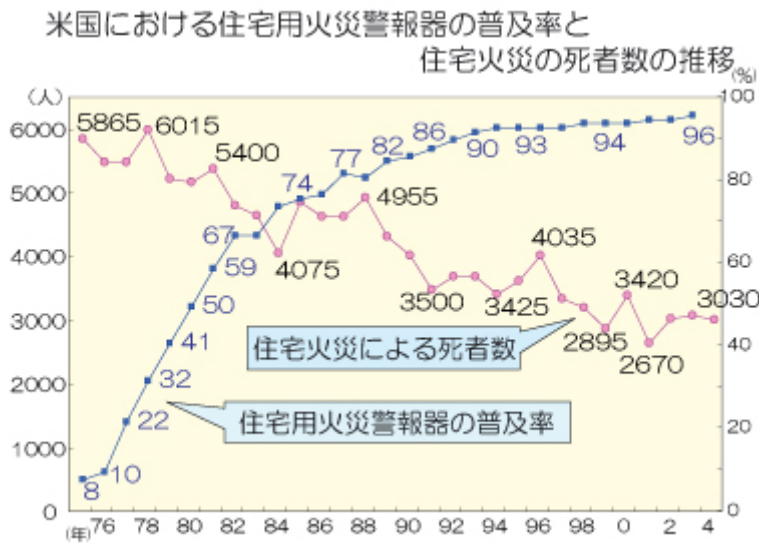
住宅用火災警報器は、警報を鳴らして「逃げ遅れ」を防ぎ、素早い消火活動につなげて被害を小さくします。

死者数が 3分の1 に！



住宅用火災警報器を設置していると、未設置の場合と比べて「死者の数」が 3分の1 まで減少したという結果が出ています。

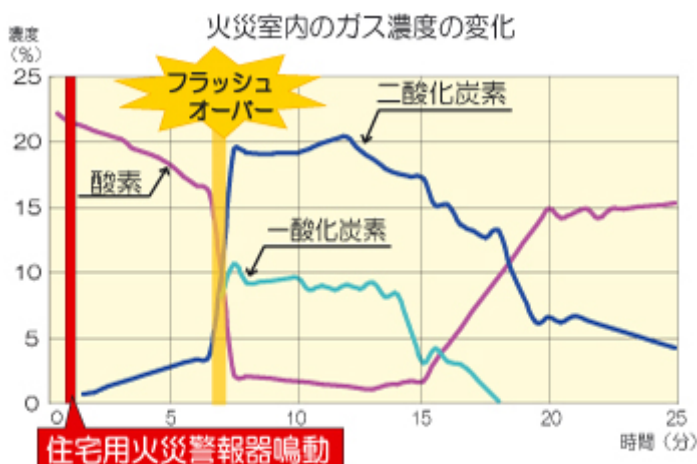
## アメリカにおける住宅用火災警報器の効果



アメリカでは1970年代、火災で約6,000人の死者が発生していました。その後、住宅火災警報器が義務化され、普及率が伸びると同時に死者数は減少し、現在では3,000人とほぼ半減しました。

アメリカで住宅用火災警報器は、「もしものために備える」とこと「命を救ってくれる」という意味で、「最も価値ある生命保険」と言われています。

## 住宅用火災警報器と有毒ガスの関係



フラッシュオーバーとは…  
出火後、可燃性ガスが天井部に溜まり、そのガスに引火して炎が一瞬で広がる現象

このグラフは、火災時に住宅用火災警報器が鳴

り出してから、フラッシュオーバーで一酸化炭素が急激に発生するまでの時間を示したものです。人間は、空気中の一酸化炭素濃度が約1.3%になると、死亡すると言われています。グラフでは、フラッシュオーバーの5分ほど前に住宅用火災警報器が鳴り出しています。その時点で火災に気づいて避難できれば、一酸化炭素中毒で命を落としてしまうこともありません。